

# いずもぎ

# 議会だより



さいの神

## 12月定例会

第58号

2008

平成20年2月5日

### もくじ

・ 定例会のあらまし .....	2～3
・ 臨時会のあらまし .....	4
・ 総務文教常任委員会報告 .....	4
・ 震災復興に向けた提言書 .....	5
・ 政務調査報告 .....	5
・ おたずねします、お答えします .....	6～7
・ 町民の声「きらっと光るもの」 .....	8

発行/出雲崎町議会  
責任者/議長 南波 榮一  
編集/議会報特別委員会

〒949-4392  
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地  
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(78)4483

# ◆ 定例会のあらまし ◆

(会期 12月10日から 5日間  
12月14日まで)

## \* 12月議会で決まった予算 \*

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一	般 会 計 (第8号)	1億 712万 1千円	43億5,287万 3千円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第3号)	5,699万 1千円	6億2,949万 7千円
	老 人 保 健 (第2号)	100万円	7億4,817万 8千円
	介 護 保 険 事 業 (第2号)	2,733万 2千円	6億 783万 7千円
	下 水 道 事 業 (第3号)	351万 8千円	6億5,351万 8千円

定例会は、出雲崎町過疎地域自立促進計画の変更、平成19年度一般会計・特別会計補正予算、郵政民営化等の条例制定・一部改正、人事案件など議案13件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり可決・同意しました。  
また請願2件は不採択。陳情1件は採択し意見書を可決しました。

### 一般会計補正予算 (第8号)

#### おもな歳出

- ・ 両保育園保育実施委託料追加…………… 252万3千円
- ・ 県単かんがい排水事業設計業務委託料…………… 200万円
- ・ 藤巻地区かんがい排水工事…………… 1,600万円
- ・ 県緑のばんそうこう工事追加…………… 300万円
- ・ 水産物共同荷捌所強化工事減…………… △1,624万4千円
- ・ 道路新設改良舗装工事追加…………… 4,000万円
- ・ 県道路事業負担金追加…………… 370万円
- ・ 新生活支援金追加…………… 300万円
- ・ 街なみ環境整備工事追加…………… 575万円
- ・ 街なみ整備助成金減…………… △ 400万円
- ・ 新潟県中越沖地震対策被災住宅復興資金預託金…………… 3,250万円
- ・ 町営住宅建築工事及び地質調査業務委託料…………… 626万5千円
- ・ 役場駐車場災害復旧工事追加…………… 860万9千円

### 特別会計補正予算

#### おもな歳出

#### 国民健康保険事業 (第3号)

- ・ 一般被保険者療養給付費追加…………… 5,520万円
- ・ 退職被保険者等療養給付費減…………… △1,200万円
- ・ 一般被保険者高額療養費追加…………… 1,015万円

#### 老人保健 (第2号)

- ・ 一般会計繰出金追加…………… 265万9千円

#### 介護保険事業 (第2号)

- ・ 介護給付費準備基金積立…………… 2,727万5千円

#### 下水道事業 (第3号)

- ・ 消費税追加…………… 351万8千円



議会傍聴



## 可決した条例制定など

- ◆ 出雲崎町過疎地域自立促進計画（後期）の変更について
  - ・ 水産物共同荷捌所新設事業を追加するもの。
- ◆ 郵政民営化法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定
  - ・ 日本郵政公社が民営化されたための条例の改正。
- ◆ 出雲崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
  - ・ 公務員給与と民間給与との格差を是正するための条例の一部改正。
- ◆ 出雲崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
  - ・ 徴収方法の一部改正。
- ◆ 出雲崎町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定
  - ・ 長岡市の旧三島郡清掃センター組合管内の地域とともに、ごみの有料化を平成20年度から実施するための条例の一部改正。
- ◆ 公共施設相互利用に関する協定書の一部変更について
  - ・ 長岡市、小千谷市、見附市、川口町及び出雲崎町で締結している協定書に変更が生じたもの。
- ◆ 町道の路線認定及び路線変更について
  - ・ 小学校線・連絡道路小学校線・沖田2号線・別ヶ谷6号線の路線認定、大門5号線の路線変更するもの。

## 可決した意見書

◆ 道路整備財源の制度堅持に関する意見書  
 ・ 本町の幹線道路である国道352線など、まだまだ「安全で安心な地域を支える道路」にはほど遠い状況であり、道路整備の財源を確保するため現行の暫定税率を維持するよう強く要望するもの。  
 ◆◆◆  
 この意見書は、国会や内閣総理大臣はじめ関係機関に提出しました。

## 人事案件

人権擁護委員の選任  
 磯部 友記雄 氏（大字大門）



提案説明

## 議会のひびき（主なもの）

（平成19年10月～12月）

- |                         |       |        |         |                             |  |                              |   |                    |                         |                   |                      |                   |          |                            |   |
|-------------------------|-------|--------|---------|-----------------------------|--|------------------------------|---|--------------------|-------------------------|-------------------|----------------------|-------------------|----------|----------------------------|---|
| 14                      | 12    | 11     | 10      | 4                           | 30   | 27                           | 21                                      | 14                 | 8                       | 22                | 18                   | 16                | 4        | 10                         | 3 |
| 議会報特別委員会<br>震災復興対策特別委員会 | 全員協議会 | 定例会最終日 | 議会運営委員会 | 12月議会定例会招集日<br>定例会2日目（一般質問） | 予算審査特別委員会<br>社会産業常任委員会<br>総務文教常任委員会<br>議会運営委員会 | 新潟県後期高齢者医療広域連合議会臨時会<br>（新潟市） | 町村議会議長会臨時総会<br>長岡地域広域行政組合議会定例会<br>（長岡市） | 総務文教常任委員会<br>全員協議会 | 震災復興対策特別委員会<br>議会報特別委員会 | 10月臨時会<br>議会運営委員会 | 総務文教常任委員会<br>議会運営委員会 | 議会報特別委員会<br>議員懇談会 | 議会報特別委員会 | 町村議会議長、副議長、委員長研修会<br>（新潟市） |   |

# ◆臨時会のあらまし◆

(会期 10月22日 1日間)

☆工事請負契約の締結(2件)

**夕凧の橋改修工事**

1億 279万5千円

松本地区

**農業集落排水施設災害復旧工事**

5,292万円

臨時会は、平成19年度一般会計・特別会計補正予算、工事請負契約の締結の議案4件を慎重審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## \*臨時会で決まった補正予算\*

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第7号)	1,226万円	42億4,575万2千円
特別会計 簡易水道事業(第5号)	840万円	2億9,536万6千円

### 一般会計補正予算

おもな歳出

☆一般会計(第7号)

- ・県単林道工事追加(吉川滝谷線、大津登ノ入線)……………280万円
- ・天領の里案内看板移設工事……………230万円

### 特別会計

おもな歳出

☆簡易水道事業(第5号)

- 簡易水道施設災害復旧工事追加…………… 820万円

## 総務文教常任委員会報告

### 町内全域に光ファイバー網の整備を

#### A案 ケーブルテレビの導入(公設民営型)

システム概要	メリット	デメリット
◇光ファイバーケーブルを用いて、収容局と加入者宅間を接続する。 ◇光ファイバーの整備は町が行い、運用・維持管理は民間事業者に委託して行う(IRU契約)。	・難視聴地域、テレビの受信状況の悪い地域が解消される。 ・テレビアンテナが不要となる。 ・行政情報、地域情報などのコミュニティ放送が可能となる。 ・高速インターネットが利用できる。 ・IP電話が利用できる(110番、119番は不可)。	・施設の整備経費が高価である。 ・採算に見合う加入者の確保(50%) ・テレビ視聴に対する利用料支出への抵抗感 ・新しい技術に対する対応 ・設備の更新等への対応 ・加入者の引込工事費用などかかる。

#### B案 民間事業者による光ファイバー網の整備(「Bフレッツ」を想定)

システム概要	メリット	デメリット
◇光ファイバーケーブルを用いて、収容局と加入者宅間を接続する。 ◇一定の加入者確保を条件に、民間事業者が光ファイバーを整備し、サービスを提供する。	・施設の整備費用がかからない。 ・高速インターネットが利用できる。 ・IP電話が利用できる(110番、119番も可)。 ・新しい技術に対する対応が可能	・難視聴対策、デジタル放送への対応ができない。 ・加入者の確保(20%) ・施設整備は事業者が行うため、実施時期が未定

高速インターネット接続(ブロードバンド)と、テレビ難視聴及び地上デジタル放送への対応について調査し、12月定例会に報告しました。

# 出雲崎町震災復興に向けた第一次提言

## 震災復興対策特別委員会

本格的な災害復旧・復興事業が実施されるに当たり、11月13日に復興に向けた基本的視点及び先行して取り組む必要のある事項について、町長に提言しました。

- JR出雲崎駅を中心とする「町の玄関」賑わい再生ビジョンの策定
- 縄文古木の有効活用
- 被災者公営住宅の建設
- 中越沖地震復興基金の活用
- 木造住宅の耐震診断費及び耐震補強工事費に対する助成制度の創設
- 災害時における情報ネットワークの構築、連絡体制・基盤の整備を進める必要がある

上勝町は、徳島市から約40キロの位置にあり、総面積のうち85%が山林で、平地はほとんどなく標高100から700mの山間地で人口は約2000人、高齢化率は48%で四国で最小の町です。

この町で葉っぱをお金に変え年間売上高二億六千万円の「彩り」事業が生まれました。もみじ、柿の葉や梅、桜の花などを日本料理の「つまもの」として商品化したものです。

生産者の主役は、70歳を超える約190人のおばあちゃんです。同じ大きさ、形、色の葉10枚を1パックにし、10パック1箱で出荷。軽量で投資が少なく、お年寄りの収入に貢献しています。

この町で葉っぱをお金に変え年間売上高二億六千万円の「彩り」事業が生まれました。もみじ、柿の葉や梅、桜の花などを日本料理の「つまもの」として商品化したものです。

生産者の主役は、70歳を超える約190人のおばあちゃんです。同じ大きさ、形、色の葉10枚を1パックにし、10パック1箱で出荷。軽量で投資が少なく、お年寄りの収入に貢献しています。

### 調査報告

### 葉っぱを宝に変えた町

### 徳島県上勝町を研修

(11月15日～17日)

上勝町は、徳島市から約40キロの位置にあり、総面積のうち85%が山林で、平地はほとんどなく標高100から700mの山間地で人口は約2000人、高齢化率は48%で四国で最小の町です。

寄りののはげみになっています。価格は変動するが、売り上げは右肩上がりとなり、年末の頃には月100万円を稼ぐ人も珍しくな



上勝町役場での研修

く、年金暮らしの人が所得税を納めるようになり、嫁や近所の悪口も、忙しくてそれどころではなくなりました。90歳を超えるおばあちゃんが梯子を使って木に登り葉っぱを採り、将来のために苗木を植えています。

市場から注文が入ると農協から一斉に無線ファックスで農家に流す。おばあちゃんたちの携帯電話での先着順の受注競争のはじまりです。

高齢者でもパソコンが使えるようにキーボードを改良し、新聞の代わりに、毎日朝夕にパソコン前に正座して情報を読むようです。

おばあちゃんたちはすっかり若返ってきたそうで、老人医療費は県内最下位となり、寝たきり老人が減少したことから町は老人ホームを閉鎖しました。

上勝町は、全国ネットのテレビでも取り上げられるようになり、町民の自信になり、その自信が新たな知恵を生み出しています。

この町にはゴミ収集車は一台も走っていません。2020年までゴミをなくする「上勝町ごみゼロ宣言」を2003年に議決しています。ゴミ処理を視察のため外国人も多く訪れています。

(小林泰三)

おたずねします  
お答えします

高齢者が安心して暮らせる町づくりについて

町長：「健やかで支え合う町づくり」を

田辺 雅巳 議員

議員：高齢者の暮らしを支える、年金、医療、介護などの社会保障は、相次ぐ改善でズタズタにされているのが現実です。

そこで高齢者率が高いわが町では、高齢者が安心して暮らせる社会をつくることは政治の重要な責任とされていますがいかがですか。

町長：「健やかで支え合う町づくり」を最大目標で施策を進めています。

今後ともお年寄りの皆さんはもちろん、若い人たちにとっても安全、安心を確保しながら、この町に住んでよかったと、町のすばらしさを共感いただけるよう頑張っていきたいと思えます。

議員：後期高齢者医療制度では保険料が払えないで保険証のとりあげが行われた場合に、町独自に救いの手がありますか。

町長：町の範囲というのは狭められている。しかし、現実の問題が起きたときには、町の進め方を適用されるよう強く申し入れ、町及び範囲は頑張っていきたいと思います。

議員：特別養護老人ホームの待機者をなくす必要がありますがいかがですか。介護手当て重度の場合の支給引き上げしてはいかがですか。

町長：小規模多機能事業は

震災の復旧を早く終わらせながら、法人とまた協議しながら対処していきたいと思えます。介護手当ては、財政状況をにらみながら考えております。

議員：民間賃貸住宅に暮らす高齢者への家賃補助制度が必要ですがいかがですか。

町長：状況をしっかりと調査、把握をしながら対応していきたいと考えております。

議員：高齢者の就労・社会参加の場をひろげるためにも、シルバー人材センターとそれにもなう災害補償制度の整備などつくってほしいと思えますがいかがですか。

町長：それぞれの団体もございまして、意向をお聞きしながら現実的な対応を検討して行きたいと思えます。



やすらぎの里



# 復興支援の中で

## 田中元議員

議員：中越沖地震から5ヶ月、町長・行政職員が復興にむけて努力されていることに、敬意を現わすものですが、復興支援の中で、いくつかの問題が提起されています。

地震発生後のゴミ処理は、行政で無料収集されましたが、収集ゴミの中に被災ゴミでないものが大量に出され、職員や収集業者が苦勞されたと聞きます。玄関先収集の行政の好意がただになりました。これは住

民モラルによるものと考えます。出しさえすれば収集してくれるでは、行政が経費の節減につとめてもなにもならないと思います。この事について意識改革はどのようにされますか。

復興支援の一部損壊で被害状況に不公平感が残ります。被害の大小には関係なく、住宅復旧にともなう廃材は同じものです。処理費用については同一でなければなりません。

支援制度の中で、一部損



収集ゴミの状況

壊について町独自の方法で融資制度を決定されたことは認めますが、自己資金で復旧する方々の廃材は有料で不公平感があります。町財政がいくらかかりして

### 県に要望を続ける

いても公平にするには限度があります。国・県の制度に対する見直しや運用方法について働きかける気持ちがありますか伺います。

中で、減量化を啓蒙していきたいと思います。

町長：中越沖地震における災害ゴミの収集はいち早く体制を整え、震災という非常事態の中で、利便性を考慮して軒先収集を実施しました。

一部損壊の支援についてはですが、被災範囲が1%、19%と広いため公平性を考えても一律には困難な面があり、どこで線引するか議論の分かれるところでは、ランクを3段階に分けて配分し、できるだけ公平を保っていますが、不公平感をなくするのは難しいし、被災された方々の気持ちを酌みとり前向きに対応してまいります。

その課程の中で、モラルに欠ける事案もあり収集分別に、大きな時間と労力を使い、費用がかかったことも事実です。ゴミ問題は、分別収集などについても、排出される方々のモラルの問題で、労力を費やしているところでは、

制度的な面で県にも主張しましたが、今の段階では難しさがありますが、今後主張してまいります。

来年度からのゴミの有料化も、モラルを守りながら、機運意識を高め、発生の抑制、再利用・再資源化の形を組み合せ、もったいないという気持ちの醸成の

町民の声

『きらっと光るもの』



馬草 坂爪 徳 榮



「合かも」が働くようす

出雲崎産米は、平成11年・12年連続して「日本一うまい新潟米」推進運動で入賞する実績もあり、味には定評があります。

馬草地区で3人の農家グループが、平成9年から「有機農産出雲崎」を発足させ、働きの合鴨から除草を手伝ってもらって栽培したのが『合かも米』です。

田植え後放鳥した水田は、春の風物といえましょう。草をついばむ姿や、葉に止まった虫を食べる様子は、道行く人が思わず立ち止まり、そのユニークさを目を奪われてしまいます。

慣行水田とくらべ、看板を立てて栽培方法を説明するより、一目瞭然にして簡単明快にその内容が説明できることです。

肥料は、出雲崎産の完熟堆肥に、鴨の出すフンとガイドラインで定めたもので、鴨が満遍なく水中を攪拌するため、酸素と有機質が供給されます。

食の「安心・安全」が問われる今こそ、環境に優しいこだわりの農業は、手間がかかるが結果として良いものが手に入ります。

苦労や失敗も有るけれど、消費者の喜ぶ顔や励ましの声が、背中を押してくれます。小さな出雲崎から全国に光りを放ってほしいものです。



表紙の小話

柿木集落のさいの神は歴史は古く、いつ頃から始まり伝えられて来たかは今はわかる人はいませんが、つい最近までお正月行事として1月15日の小正月に行われて来ました。

ところがなにかの事情で一時とだえた事がありましたが、さびしく思った集落の大先輩たちが、昭和46年頃に復活させ現在にいたっています。

今は農業の機械化により稲わらの確保が難しくなったため、集落全体の事業として取り組むように、わらははら、縄は縄と役割を分担しています。

他に1月3日に獅子を出し、一軒一軒回り、集落民の家の安全、厄払いをしています。

(日山正雄)

あとがき

平成19年を振り返ると、春先は雨が多く日照不足が懸念された稲作も、後半天候もよく良作でありながら、米の値段が安く農家にはよい年といえませんでした。

国では、総理大臣の早期交代、不祥事による大臣の入替え、年金問題、テロ対策で油輸送艦問題で国会の延期、一方で防衛省の接待他多くの疑惑問題等、国民不在の国会でした。

そんな中、出雲崎町は中越沖地震に見舞われ甚大な被害が出ました。町民各位のご協力で復旧、復興が半ばまで進んで来たのだと思います。

また今期は早い時期から大雪の予想が出され被害道路の除雪が心配されましたが予想外の小雪で復旧工事もめどが立ち安心して新年を迎えました。しかし、被害を受けられ仮設住宅にお住いの皆さん方には、新年どころではないご不自由な生活をしいられ、たいへんな事と思います。頑張つて乗り越えていってほしいと思います。

私たちも一生懸命応援していきたいと思えます。今後ともご指導をお願いいたします。

(日山正雄)

このたび、議会報特別委員に日山正雄議員が選任されました。